



26
LEADING COMPANY

株式会社 あおい総合設計

独自工法や提案力を武器に
全国に飛躍する設計事務所

独自工法で全国に羽ばたく
ゼロから創造し次につなげる

独自の設計手法とデザイン力、企画力・提案力で全国から選ばれる設計事務所が米子市にある。国道431号沿いに本社を置く《株式会社あおい総合設計》だ。1978年に創業し、2012年に浦川英敏氏が代表取締役就任。17年に設立40周年を迎え、同じ年に現在の社名に変更した。現在は、省エネ・環境に配慮した設計手法を武器に、米子市を拠点に北海道から九州まで、全国で実績を積み重ねている。このような環境に配慮した建物設計に取り組み始めたのはおよそ20年前だ。

同社は、もともとは自治体の庁舎や文化ホールといった地域の公共工事の設計を主体に業績を伸ばしていたが、時代の波とともに公共工事が減少。会社の存続をかけて新たに目を向けたのが、全国の大型の工場や生産設備を持つ民間工場だ。しかし、鳥取県の一設計事務所が全国展開していくには突出した分野が必要だ。そこで当時の地球環境問題への意識の高まりを背景として、省エネかつローコストを実現する建物設計の追求がスタートした。

建物のローコスト化で重要なのが、基礎や骨組み、梁などの構造コスト

提案力を高める上で、求められるのがコミュニケーション能力だ。「コミュニケーションは、話す、だけでなく、聞く、ことも大事。我々の仕事は、ゼロからつくる仕事です。そのためには、相手の気持ちを聞き取る力が必要です」と強調する。また「一つの仕事をその一度きりで終わらせるのではなく、人とのつながりを断ち切らず、人脈をもとに新たな仕事を広げていくことも重要だという。「無用の用」という故事成語がありますが、仕事をとることが、長期的に見て非常に大切です。こうした意識を持つ人は技術者としても、営業の人材としても大きく育ちます」と長年の経験から確信する。

※AES=Aoi Engineering System

「わが社を語る上で欠かせないのが省エネ、構造設計、そして提案力です」という浦川代表の言葉を裏付けるのが、自治体が実施するプロポーザルや民間企業の企画デザインコンペの結果だ。「参加したプロポーザルでは大体7〜8割の指名を獲得しています。今は金額の安さだけでなく、提案力、技術力、デザインなどを総合的に判断して設計者を選ぶ方法が主流です。今後も他社と切磋琢磨して技術力・提案力を磨いていきます」と力強く語る。



浦川英敏代表取締役。自身も構造設計の技術者として豊富な知識と経験を持つ。社員の性格や適性を見極めて、適材適所の配置や挑戦の機会を与えている



株式会社 あおい総合設計

事業内容

建築意匠設計、構造設計、工事監理、耐震診断、補強設計

創業 昭和53 (1978) 年7月6日

代表者 代表取締役 浦川 英敏

社員数 19名 (男12名 女7名)

本社 鳥取県米子市皆生6-1-25

電話 0859-34-5811

採用エリア (勤務地)

米子市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

採用担当者からあなたへ

当社社員に共通するのは、頑張り屋さんなところ。建築が好きで、建物を使う人のことを思いやる気持ちが強いからだと思います。そんな先輩が伴走しながら、一緒に成長できる会社です。「向上意欲のある方」「自分も仲間も大切にしてください方」、ぜひ、会社見学、インターシップにおいてください。



総務部 部長 飯田 順子さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-34-5811

採用直通 E-mail

soumu@aoi-a.jp

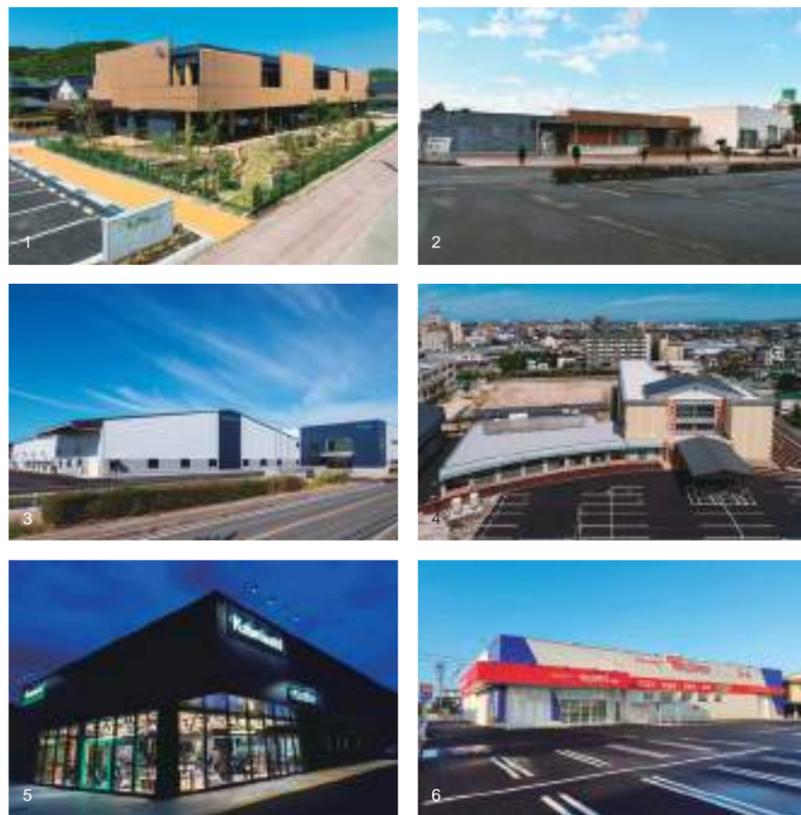
公式サイトはこちら



「社員は人材」という理念のもと、浦川代表は「自身の付加価値を高められるような提案をしています」と社員の特性を見極めて、常にレベルアップの機会を設けている。それは、成長につながるような仕事や、資格取得などさまざま。同時に、働きやすい環境の整備にも余念がない。福利厚生面では、各種手当のほか社員の誕生日会、社員旅行などを実施。また女性社員の増加に伴い、女性専用トイレも増設した。長年、健康優良企業にも連続で認定され、健康増進の取り組みにも積極的だ。「能力を上げるには時間が必要。長く勤めて一人一人が技術者として成長できる環境を整えています。同時

レベルアップできる機会と環境が充実

に、社員にも「この会社を引っ張って行く」という強い気概を持ってほしい」と浦川代表。挑戦を恐れず、たとえ失敗しても成長につなげて前進できるような人材を求めている。全国からの受注が拡大している今、浦川代表自身も新たなステージに挑もうとしている。一つは関東に拠点を構えること。東日本の案件も多く、必要性を感じているという。そしてもう一つは、異業種への挑戦だ。「社会のニーズが変化する中で、仕事のあり方も必ず変化していくはず。数十年後に設計事務所が残る保障はありません。業績が好調な今、事業の柱を増やしておきたいのです」と、会社の存続を見据えて準備を始めている。同社は常に時代の一步先を読み、成長につなげてきた。今後の飛躍を期待せずにはられない。



1 《学校法人修立幼稚園 こども園かける》(鳥取市立川町) 2 《KAIKEテラス》(米子市皆生温泉) 3 《株式会社ゴール 米子工場》(米子市和田町) 4 《米子市立啓成小学校》(米子市博労町) 5 《Kawasaki PLAZA米子》(米子市陰田町) 6 《ドラッグストア ウェルネス 米原店》(米子市米原)

街の風景をつくるプロ集団

チームをまとめるアンテナを一本増やしたい

長年、東京の構造設計事務所に勤務し、2019年に妻の地元の米子市に移住して入社。3児の父として時には在宅勤務をしながら幅広い構造設計に携わり、2024年に取締役に抜擢された。「チームを機能させるにはどうすれば良いか考えるようになりました。当たり前のごとに気付きを持ってよう、アンテナを一本増やしたいです」と抱負を語る。ここ数年、20代の社員が増加し、30代の引野さんは若手とベテランをつなぐ存在でもある。「会社の継続のために若い力は必要。やる気に満ちた彼らの存在は自慢です」と胸を張る。引野さんの専門の構造設計は会社の強みでもあり、構造一級建築士を目指して自身もモチベーションを高く持つ。



設計部 取締役構造課長 引野 怜史さん 2019年入社

お客様の熱い想いを自分ごととして受け止める

名古屋の住宅を手がける設計事務所で働いていた金山さん。それ以前に、あおい総合設計で短期のアルバイトとして働いていた縁で、地元の米子市にUターンした際に就職した。「設計は存在しないものを形にする仕事。図面しかないものをお客様に提案するのは責任重大ですが、自分の成長に伴ってお客様への提案の幅が広がっています」と手応えを感じている。「お客様は熱い想いで依頼されています。自分ごととして受け止めて、自分から動くことを意識しています」と入念に準備して打ち合わせに臨む。仕事熱心である一方で、プライベートではフルマラソンやトライアスロンにも挑戦し、メリハリのある充実した日々を送る。



設計部 金山 翔太さん 2021年入社

新たな視点、新たな学びが楽しくて仕方ない

一度はハウスメーカーの設計部に勤めたが、店舗や施設などの大規模な建築への興味を忘れられず、思い切って転職を遂げた牧田さん。「あおい総合設計は社員のほとんどが建築士の資格を持ち、周りに建築の先生がたくさんいるような感覚。皆さんの良いところを学びたいです」と意欲的に技術や知識を吸収する。少しずつ仕事を任せられるようになり、現在は小規模な建物の改修や、測量などを真剣にこなし、ステップアップを目指す。「規格住宅と異なり、図面に引く線の本一本に意味があることを知りました」と新たな視点が増えたことを喜ぶ牧田さん。施主の想いを形にできる「丁寧な設計士」を目標に掲げ、日々奮闘中だ。



意匠設計部 牧田 季莉さん 2024年入社

尊敬する人たちと働ける喜びを実感

来客や電話対応、事務書類の作成などを行う田中さん。「社内外の方とのコミュニケーションが楽しいです」と明るく笑う。入社の日々からはホームページの従業員紹介。「皆さんの仕事への想いに惹かれ、また、身近な建物を手がけていると知り、一緒に働きたいと思いました」と振り返る。休憩時間になると、部署を超えて気さくに会話を楽しむという。「仕事に限らず、皆さんの幅広い視点や深い考え方に驚いています」と尊敬の念を抱くとともに、自身も成長したいとファイナンシャルプランナー3級・2級の資格取得を目指す。「知識を身に付けて、会社の皆さんに信頼して仕事を任せてもらえるようになりたいです」と意欲を燃やす。



総務部 田中 弥桃さん 2023年入社